

**製品名: CD334 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82336**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	88kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD334
別名	FGFR4; TKF; JTK2
遺伝子 ID	2264.0
SwissProt ID	P22455
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD334 (AA: 追加 22-369) の精製された組み換え断片。

**背景**

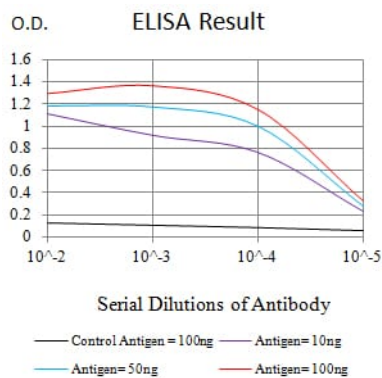
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、チロシンキナーゼであり、線維芽細胞増殖因子の細胞表面受容体です。このタンパク質は、細胞増殖、細胞分化、細胞遊走、脂質代謝、胆汁酸生成、ビタミン D 代謝、グルコースの取り込み、リン酸恒常性など、

複数の経路の調節に関与しています。このタンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通領域、そして細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されています。細胞外領域は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流シグナルのカスケードを開始させ、最終的には有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。[RefSeq 提供、2017年8月]

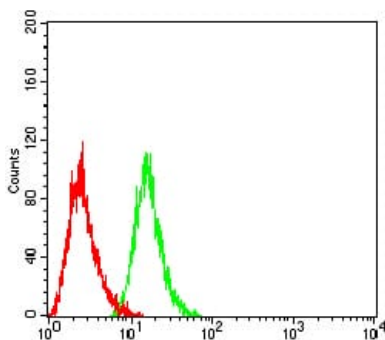
## 研究分野

TGF- $\beta$ シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD334 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。